

高次脳機能障がいについて

高次脳機能障がいとは、何らかの原因で脳が損傷を受けることによって起きる、注意・記憶・社会的行動などに関する障がいです。

脳が損傷を受ける原因としては、次のようなものがあります。

- (1) 交通事故や転落事故などで頭を強打することによる外傷性脳損傷
- (2) 脳出血、脳梗塞、くも膜下出血などの脳血管障がい
- (3) 一酸化炭素中毒などの低酸素脳症

主な特徴

注意障がい

- ・集中力が続かない
- ・同時に二つのことができない
- ・気が散りやすい

記憶障がい

- ・人や物の名前、行き先や場所を忘れてしまう
- ・新しい知識を覚えることや、忘れないようにすることが苦手

遂行機能障がい

- ・一つひとつ指示されないと行動できない
- ・優先順位を決めて効率的に作業を行うことが難しい
- ・臨機応変な対応が難しく、場当たりのになりやすい

失語症

- ・言いたい言葉がなかなか出てこない
- ・話は聞こえているのに、その内容を理解できていない
- ・字の読み書きができない

情動面の障がい

- ・こだわりが強い
- ・態度や気持ちを適切に表現することが苦手
- ・感情、自己コントロールの低下（イライラしやすい、落ち込みやすい、怒りっぽい）



知ってほしいこと

高次脳機能障がいとは、外見からわかりにくく、周りの人から十分に理解を得ることが難しいため、誤解をされてしまうことがあります。また、複数の症状が重なって現れ、以前できたことが苦手になってしまう場合があるため、本人や家族の社会生活に大きな影響を及ぼします。

【例】

注意障がい（集中力が続かない、気が散りやすい）のため、「作業が遅い」「仕事をまかせられない」と思われたり、記憶障がい（人の顔や名前、約束や予定を忘れる）のため、「あてにならない人」と思われたりしてしまいます。

車の事故を起こし、どうしていいかわからずに逃げ帰り大きなトラブルになったり、だまされて高額な契約をさせられたりすることがあります。



高次脳機能障がいの方も、習慣や技能のような体で覚える力は比較的保たれています。行動をパターン化し、繰り返し習慣化することでできることが増えていきます。携帯電話のメールやメモ、アラームなどの機能を使ったりすることも有効な支援です。